

自立支援でコミュニティの一員に

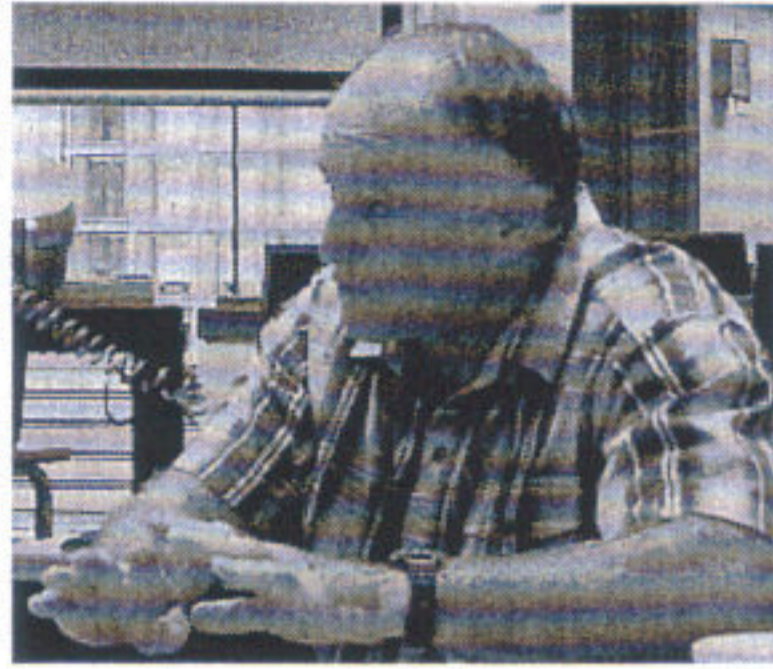
職業プログラムなどで中退者減らす

海外から日本の教育を再発見するカナダの教育視察ツアー(主催・NPO法人教育研究所)が8月6日から14日までの9日間の日程で実施され、弊社が同行取材した。プリティッシュ・コロンビア州(BC州)のバンクーバー市郊外のアボッツフォード市ロバートベイトマンセンターリースクール(日本の中・高校、13〜18歳)を訪問。同校の特別支援プログラムは、身体等に障害のある生徒のクラスと、障害はないが学校生活に支障をきたしたり、非行等の問題を抱えていたりする生徒のクラスがある。後者の自立支援クラスについてまとめた。



第2回

で、そのうちの30人は州教育省からの年間1人当たり5千円の特別支援の財政支援を受けている。生徒の男女比は6対4で男子がやや多い。ユースワーカーなどがコーディネートして、コミュニティの福祉センターなどの連携が重要視されている。ほとんどの生徒が「ドッグウッドプログラム」(日本の高校卒業程度認定試験に相当を活用している)。



プログラムを説明するマッド教諭

■自立支援クラスの概要
カナダでは、授業でクラスメートの前でプレゼンテーションなどを行うことがごく普通に行われ、人前で話すことに負担を感じて不登校になる生徒がいる。児童虐待や家庭内暴力など家庭の問題の影響から不登校になった生徒もいるなど、日本と同様に様々な要因から学校に行かなくなるケースがある。

ただ、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ

た、同市では学校を簡単に辞めさせることはできない制度があり、退学者が増えることは校長の責任が問われることになる。自立支援プログラムは、コミュニティから疎遠となった、例えば、一家でホームレスになっ



資になるが、毎年、生徒が学校でしっかりと学習を修めることができれば、社会に出て成功する率も高くなる。長期的にみると、意義のある取り組みと評価されている。では、地域のサポート機関とそのネットワークを生かす。地域の支援サービスと同じ施設の中で行えるようにするた